

星空も見たことない子らに

部屋の調度が陋いからだ。四つ柱の襖を引いて、「わいと寝た日々や麗香をひいたながた、運をもてたこひがく」ほんまに豪華でない、ただ豪邁だけ。生徒習慣に因るものが自立して少供の姿のほか。文部省といふ。また文部省は、父親の生

「おまえはもう、小学校四年生にならん」といふと、おまえの父さんが「疲れた」とお母様の7割が言つたこと、どうやう子供の世界。それは、少なくとも文部省は「家庭の指導

文部省・体

大人社会の写し絵でもある。

●自分たの世界

中学生年を女性は行なう年齢として46%が「家に自分だけの部屋がある」と答えた。小2の33%

6%から小4の35%、小6の47%
と、半年が高くなるに従って率
は上昇する。

は上昇し、中2では60%に達する。専用テレビは小2で既に9%が持ち、小4で11%、小6で

16%となつて中2には4人に1人の25%になる。

●自覚めが悪い

「疲れる」小2で3割も

校の五年生の3人に一人が保護から成る。年生が上がるほどに増えて田舎では毎年の割合は70%近くである。子供の体験活動調査で分かった。人保護者があるた。運動しないのに運動がやられる感じるのは全体平均で70%あるが、これは何事もあつた。中学生は75%以上で、保護者が園芸を採り、かじり、野菜を育てて、1年で農園を始めた。農園を始めた後で、1年で野菜を育てた。田舎では75%ある。

「時給年齢」が33歳と計45%。~20歳の小2で既に一人で時間を使おうとする人が多いんだ。
また学習塾は43%が通い、中でも英会話が人気だ。

文部省のこのいは目白な
教職への接觸が、その本質的
性質からして、その外の
事実である。それで、たゞこの
問題を解くには、必ずしも、
その外の問題を解くことの必要
がある。そこで、たゞこの問題
を解くには、必ずしも、その外の
問題を解くことの必要がある。
たゞこの問題を解くには、必ずしも、
その外の問題を解くことの必要
がある。

年間の学校生活を振り返って調査した。全く記憶がなかった。なぜか知らない。校舎では、小さな部屋がそのまま自分の居間になっていた。一方で、自分の居間を出ようとすると、外へ出るところが、狭い階段だった。

文部省 子供調査

平烏酒 33% [陳酒] 86.7%

中2、25%がTV専有

四

「道徳」「正義」などと説けるのか

日の出や日没

がある】(男子) 平均%
女子平均% より低い数字
だった。校園にいるのが度
をないくらい思ひだしが何度
もあるのは、三人に一人の
割合だった。
自然系の選択率は少しの
間違え

ほんと見てないが3割

小中学生の自然体験、生活体験の例		
（回答は6、小数点以下は四捨五入）		
少しある	何度もある	ほとんどない
太陽が昇るところ 3子	41.3%	34
弓や矢むところ 2子	43.8%	36
を見た		
夜空いっぱい輝く星をゆっくり 2子	46.7%	26
見た		
小さい子どもを 3子	33.3%	21
育真ったら迷ん 2子	33.3%	21
だりした		
弱い者いじめや 3子	50.0%	37
ケンカをやめさせ、注意した 2子	25.0%	18

AA19980076J1